

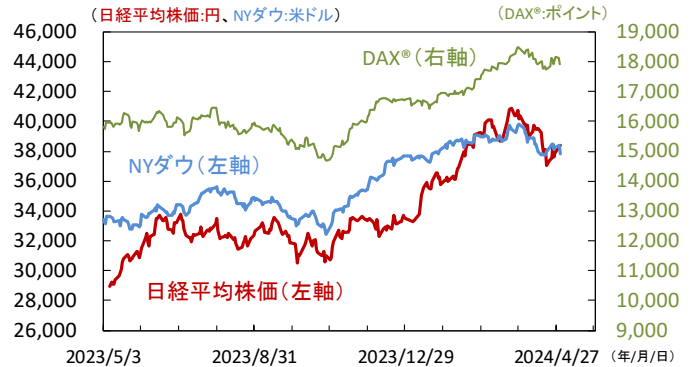
## 日本株は円安好感し大幅高も、海外市場はFOMC控え警戒高まる

## 主要金融市場の動き

株式	(単位:ポイント)	4月30日	4月29日	前日差
日本	日経平均株価(円)	38,405.66	休場	—
	- CME日経平均先物(円)	38,165.00	38,325.00	-160.00
	TOPIX(東証株価指数)	2,743.17	休場	—
	参考) 東証REIT指数	1,808.73	休場	—
米国	NYダウ(米ドル)	37,815.92	38,386.09	-570.17
	S&P500	5,035.69	5,116.17	-80.48
	- S&P500配当貴族指数	4,361.84	4,397.81	-35.97
	ナスダック総合指数	15,657.82	15,983.08	-325.26
ドイツ	DAX®指数	17,932.17	18,118.32	-186.15
英国	FTSE100指数	8,144.13	8,147.03	-2.90
豪州	S&P/ASX200指数	7,664.10	7,637.40	26.70
中国	上海総合指数	3,104.82	3,113.04	-8.22
香港	ハンセン指数	17,763.03	17,746.91	16.12
インド	S&P BSE SENSEX指数	74,482.78	74,671.28	-188.50
ブラジル	ボベスパ指数	125,924.19	127,351.79	-1,427.60
先進国	MSCI WORLD	3,305.30	3,347.04	-41.74
新興国	MSCI EM	1,045.95	1,051.33	-5.39
商品	(単位:米ドル)	4月30日	4月29日	前日差
原油	WTI先物(期近物)	81.93	82.63	-0.70
金	COMEX先物(期近物)	2,302.90	2,357.70	-54.80
10年国債利回り	(単位:%)	4月30日	4月29日	前日差
日本		0.872	休場	—
米国		4.682	4.612	0.070
ドイツ		2.582	2.528	0.054
オーストラリア		4.416	4.497	-0.081
為替(対円)	(単位:円)	4月30日	4月29日	前日比%
米ドル		157.80	156.33	0.94
ユーロ		168.21	167.57	0.38
英ポンド		197.11	196.37	0.38
カナダドル		114.51	114.42	0.08
オーストラリア(豪ドル)		102.11	102.65	▲0.53
NZ(ニュージーランド)ドル		92.90	93.44	▲0.58
シンガポールドル		115.56	114.98	0.50
中国人民幣元		21.789	21.615	0.81
インドルピー		1.8905	1.8736	0.90
インドネシアルピア(100ルピア)		0.9702	0.9614	0.92
メキシコペソ		9.201	9.189	0.13
ブラジルリアル		30.382	30.533	▲0.49
トルコリラ		4.869	4.801	1.42
ロシアルーブル		1.6885	1.6750	0.81

注) CME: シカゴ・マーカンタイル取引所。CME日経平均先物は円建て契約で、単位:ポイント。  
 MSCI WORLD、MSCI EMは米ドルベース。  
 WTI(West Texas Intermediate)原油先物: ニューヨーク・マーカンタイル取引所(NYMEX)で取引される米国の代表的な原油先物。  
 COMEX金先物: COMEXグループを構成するニューヨーク商品取引所で取引される代表的な金先物。  
 表中の数値は作成時点の数値であり、掲載時点の数値とは一致しない場合があります。  
 前日差は原数値の比数であり、表記の数値とは四捨五入の関係で合致しない場合があります。  
 本資料は、作成時点でLSEGにおける情報が更新されていない場合、数値を記載できないことがあり、その場合、「N/A」と表示しています。また、取引所が休場であっても、LSEGにおいて数値が掲載されている場合は、当該数値を記載している場合があります。  
 出所) MSCI、LSEGより当社経済調査室作成

## 主要国株式の動き



注) 直近値は2024年4月30日

出所) LSEGより当社経済調査室作成

## ◆マーケットの動き:

- 日本株は大幅高。円安進行により輸出関連株を中心に買われ、TOPIXの主要17業種全てが上昇。国内債券市場は金利低下。海外金利低下や前週の日銀金融政策決定会合で国債買入方針が維持されたことを好感。
- 日銀公表の当座預金増減から、29日の為替相場場で5.5兆円程度の円買い介入が行われた可能性が高いと判明。足元の米ドル円はNY時間に157円台後半まで下落。
- 中国の国家統計局は4月製造業購買担当者指数(PMI)を発表し、3月50.8→50.4と2カ月連続で景気拡大・縮小の境目とされる50を上回り、長い低迷から改善の兆し。
- 米国債利回りは上昇し、米国株は幅広い業種で下落。1-3月期雇用コスト指数は前期比+1.2%と前期(10-12月期:+0.9%)から加速。賃金上昇圧力高止まり懸念を嫌気。
- 米4月消費者信頼感指数は97.0(3月:103.1)と下振れ。食品・燃料価格高の懸念や職探しが困難との回答増加。
- ユーロ圏1-3月期実質GDPは前期比+0.3%と予想(同+0.1%)を上回る。主要国(独仏伊西)は軒並みプラス成長。

## ◆本日の注目点:

## FOMCはパウエルFRB議長の記者会見に注目

FOMCが5月1日まで開催(結果公表は日本時間2日未明)。6会合連続となる政策金利の据え置きや、金融市場の流動性に配慮しバランスシート縮小のペース減速が決定される見通し。また、議長の記者会見では、起伏のある推移が続く物価への見通しや、利下げ時期に関する判断材料が示されるかが焦点となる。経済指標では4月ADP雇用統計やISM製造業景気指数に注目。(清水)

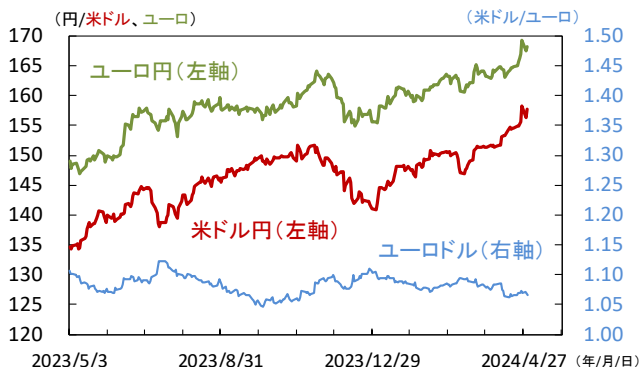
## 主要国金利の動き



注) 直近値は2024年4月30日

出所) LSEGより当社経済調査室作成

## 主要通貨の動き



注) 直近値は2024年4月30日

出所) LSEGより当社経済調査室作成

## 本資料に関してご留意頂きたい事項

- 本資料は、投資環境等に関する情報提供のために三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。販売会社が投資勧誘に使用することを想定して作成したものではありません。
- 本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。
- 各ページのグラフ・データ等は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
- 本資料に示す意見等は、特に断りのない限り本資料作成日現在の三菱UFJアセットマネジメント戦略運用部経済調査室の見解です。また、三菱UFJアセットマネジメントが設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

## 本資料中で使用している指数について

「日経平均株価」に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。  
 TOPIX（東証株価指数）、東証REIT指数に関する知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。  
 ドイツ「DAX®」：本指数は、情報提供を目的としており、売買等を推奨するものではありません。  
 FTSE International Limited(“FTSE”)©FTSE。 “FTSE®”はロンドン証券取引所グループ会社の登録商標であり、FTSE International Limitedは許可を得て使用しています。FTSE指数、FTSE格付け、またはその両方におけるすべての権利は、FTSE、そのライセンサー、またはその両方に付与されます。FTSEおよびライセンサーは、FTSE指数、FTSE格付け、もしくはその両方、または内在するデータにおける誤りや省略に対して責任を負わないものとし、FTSEの書面による同意がない限り、FTSEデータの再配布は禁止します。  
 MSCI WORLD、MSCI EMに対する著作権およびその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。



三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号  
 加入協会：一般社団法人投資信託協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会